

[2016年夏聖書学校資料使用説明書]

▲学習目標

- 1.神様の刻印とサタンの刻印を知りましょう(絶対目標)
- 2.みことばに根を下ろす時間を決断します(絶対使命)
- 3.神様が私を世界を生かすレムナントとして派遣されたことを知りましょう(絶対献身)
(※ 2016年 Remnant 働き人および教師セミナーメッセージを参考)

▲全体内容

- 1 講、2 講の構造は、映像視聴、演劇、メッセージのような構造で構成されています。
- 3 講は派遣式です。

▲詳しい内容

△1 講(ヨセフ)

- 1.映像視聴(*日本語はないので、添付できません。すみません：訳者注)

映像で本来神様がくださったことを伝えるヨセフと兄たちを表現しました。

3 講(派遣式)

個人適用黙想

- ①みことばに根を下ろす時間がある私の未来はどうなるでしょうか
- ②みことばに根を下ろす時間がない私の未来はどうなるでしょうか
- ③私の決断文を作成します。

決断文宣言式

-宣誓式

-決断文朗読

派遣式

-派遣状授与

-祝福祈祷

1 講(ヨセフ)

映像視聴

- ①ヤコブから伝えられた神様の刻印
- ②兄たちに植わったサタンの刻印
- ③ヨセフの選択は
 - 選択 A:サタンの刻印について行くこと
 - 選択 B:ひとりでみことばに根を下ろすこと

演劇

選択 A チーム:子どもたちが想像で演劇

選択 B チーム:聖書内容を土台に演劇

メッセージ

- 1.神様の刻印 創世記 1:27-28

2.サタンの刻印 創世記 3、6、11 章

3.みことばに根を下ろしたヨセフは家庭、家系、国、世界を生かしました。

結論)私もみことばに根を下ろす時間を持ちます

2 講(サムエル)

映像視聴

①ハンナから伝えられた神様の刻印

②ホフニとピネハスに植わったサタンの刻印

③ヨセフの選択は

-選択 A:サタンの刻印について行くこと

-選択 B:ひとりでみことばに根を下ろすこと

演劇

選択 A チーム:子どもたちが想像で演劇

選択 B チーム:聖書内容を土台に演劇

メッセージ

1.神様の刻印 創世記 1:27-28

2.サタンの刻印 創世記 3、6、11 章

3.みことばに根を下ろしたサムエルは家庭、家系、国、世界を生かしました。

結論)私もみことばに根をおろす時間を持ちます。ヤコブ(親)から福音を伝えてもらいます。

初めて教会に来る子どもたちがいることがあるので、アダムとエバの話を入れて、創世記 1 章の創造原理と創世記 3 章の根本問題と解決策キリストを伝えようと思いました。いっしょに伝えてもらったのに、兄たちは、食べること、着ること、目に見えることが価値があるように思うサタンの刻印が深くなっていました。ヨセフはどんな選択をしたのでしょうか。

2.演劇

演劇を通して子どもたちが直接、体で感じて、その状況にいるかのような体験をさせて、さらに深く刻印させようと思います。先生たちは、全体の絵を持って子どもたちが直接考えて参加するように誘導して下さい。準備時間を 20 分くらい与えて、演劇時間を 5 分以内の長さで準備しなさいと言います。(とても長くなれば退屈になります。簡単で、急に差し迫るように!短い時間の中でより大きいアイデアが出てきます。映像 10 分,演劇 30-40 分,メッセージ 15 分-20 分。子どもたちの立場で決して短い時間ではありません。)

選択 A:兄たちと無事に過ごしたいヨセフが、兄たちに従っていく選択

子どもたちに質問を投げます。「ヨセフがお兄さんたちに従って、みことばの根を下ろす時間を持たないで、目に見えることだけ重要だと思っていたら、どうなったのかな」子どもたちの意見を積極的にとり入れてストーリーを作ります。子どもたちが何の意見も出さなければ、先に先生の考えを話します。

「お兄さんの機嫌を取ってよくして、お兄さんと仲良くなったでしょうが、その当時、聖書を見れば、ひどいききんになったので、そのとき、みな飢え死にしたのでしょうか、しなかったのでしょうか」

「お兄さんたちの機嫌をとるのが上手でも、お兄さんたちは、それでもヨセフを嫌って、ある日、うつ病になかったのではないかな」

「お兄さんたちの機嫌をとるのが上手でも、お兄さんたちが嫌って、後から復讐して失敗して10人のお兄さんにさらにひどい目にあわされ、結局、大きいききんの年にみんな同じようにほろびたのではないかな」

子どもたちの意見を集めて、具体的な台本を作って、どの役割を誰がするのか配分して、リハーサルをします。

選択 B:みことば根を下ろす時間を区別するヨセフの選択

この状況は聖書に出ています。先生たちがあらかじめ重要な聖書箇所を見つけておいて、子どもたちと何か所かだけ読んで、その状況を具体的に台本を書いて演出します。すべての聖書の話をしよとするなら、5分の演劇で作ることはできません。それゆえ、ナレーションを積極的に活用して下さい。

「お兄さんを通してヨセフはエジプトに奴隷となっていき、ポティファル将軍の家に売られました」 - こういうナレーション一言なら、穴に落とされて兄たちが売って、お金をもらう多くの部分が一言で要約されます。

★ tip

1.結末が重要です。Aは必ずほろびる側に、Bは必ず総理になって、世界福音化する場面で終えて下さい。

派遣メッセージとつながります。

2.簡単な小物は先生があらかじめ会議して準備して下さい。(マジックと A4 用紙があれば誰の役割なのか知ることができる最小限の小物になるでしょう!)

3.演劇の重要なポイントは、みことばの根を下ろす時間があるかないかによって、人生がどのように流れるかです。みことばの根を下ろす時間を具体的に表現することができるように指導して下さい。(例えば清掃しながらも、賛美して祈るヨセフ、監獄でも神様に感謝しながら神様の計画を尋ねるヨセフ、お父さんが祈りの時間もっていても、兄たちと遊んで、そんなことが何が必要だとささやくヨセフ)

2.メッセージ(*貼付した PPT 内容です。板書ですればより一層効果的です)

1.神様の刻印

(1)神様のかたち(創世記 1:27)

(2)神様とともに、征服、治めること(創世記 1:28)

(3)まことの幸せ

→ 神様が本来くださった刻印は、神様とともにいるとき、幸せな霊的存在として作られたので、インマヌエルが最も大きい幸せ

2.サタンの刻印

(1)私のために

(2)肉のために

(3)成功のために

→ サタンはいろいろなことを通して神様の刻印の反対に話します。目に見えない神様が何が重要なのか。あなた自身が重要だろう!良い服を着て、おいしいもの食べて、ほめられて認められて、成功して!それが本当に幸せだよ!サタンは学校教育を通して、本を通して、映画を通して、アニメを通して、人の声

を通して、文化を通して…いろいろなことを動員して神様の刻印の反対の違った刻印を植えます。

3.みことばに根を下ろす時間

(1)ヨセフはみことば根を下ろす時間がありました。

(2)サタンの違った刻印が防がれる時間です。

(3)家庭、家系、国、世界を生かすレムナントとして用いられました。

→ サタンの声、世の中の声に耳を閉じて、神様の刻印が根を下ろすようになる時間が必要です。ヨセフはその時間がありました。それゆえ、どんな問題と事件にも揺れない、まことの幸せを味わいました。そして、家庭、家系、国、世界を生かすレムナントとして用いられました。反対に、この時間がなかったら、ヨセフはどうなったのでしょうか。私たちのレムナントが芝居した通り、いっしょにほろびる人生になったことでしょうか。生かす者として呼ばれて、みことばも受けたのに、失敗の場所にいるようになります。

結論)私もヨセフのようにみことばに根を下ろす時間を持ちます。

①礼拝 ②みことば黙想 ③祈り ④賛美 ⑤伝道

→ それでは、私はどのように神様のみことばに根を下ろす時間を持ちますか

△2 講(サムエル)

1.映像視聴(*日本語はないので、添付できません。すみません：訳者注)

映像で、本来、神様がくださったことを伝えるサムエルを表現しました。ハンナ(親)から福音を伝えられます。牧師の息子であり、伝道師だったのに、ホフニとピネハスは、食べること、着ること、目に見えることが価値があるように思うサタンの刻印が深くなっています。サムエルはどんな選択をしたのでしょうか。

2.演劇

演劇を通して、子どもたちが直接、体で感じて、その状況にいるかのような体験をさせて、さらに深く刻印させようと思います。先生たちは、全体の絵を持って子どもたちが直接考えて参加するように誘導して下さい。準備時間を 20 分くらい与えて、演劇時間を 5 分以内の長さで準備しなさいと言います。(とても長くなれば退屈になります。簡単で急いで差し迫るように!短い時間の中でより大きいアイデアが出てきます。映像 10 分,演劇 30-40 分,メッセージ 15 分-20 分。子どもたちの立場では、決して短い時間ではありません)

選択 A:ホフニとピネハスと無事に過ごしたいサムエルが、ホフニとピネハスについて行く選択

子どもたちに質問を投げます。「サムエルがみことばに根を下ろす時間を持たないで、目に見えることだけ重要だと思っていたら、どうなったでしょうか」子どもたちの意見を積極的に受け入れて、ストーリーを作ります。子どもたちが何の意見も出さなければ、先に先生の考えを話します。「サムエルが表面では礼拝もよくささげて誠実に生きているようでも、ホフニとピネハスを見ながら、不満が積もって、かんしゃくが積もって、うつ病になっていたのではないのでしょうか」

「サムエルがホフニとピネハスといっしょにつきあって、信徒の献金を奪って、礼拝時間に女の子を連れていっしょに遊びに行っていたら、ホフニとピネハスといっしょに神様から罰を受けたのではないのでしょうか」

「サムエルががんばって耐えて、いらいらして『私はもう教会で住めない!!』と言いながら飛び出てし

まわなかったでしょうか」

子どもたちの意見を集めて、具体的な台本を作って、どの役割を誰がするのか配分してリハーサルをします。

選択 B:みことば根を下ろす時間を区別するサムエルの選択

この状況は聖書に出ています。先生たちが、あらかじめ重要な聖書箇所を見つけておいて、子どもたちといくつかの箇所だけ読んで、その状況を具体的に台本を書いて演出します。すべての聖書の話をしよとするなら 5 分の演劇で作ることはできません。それでナレーションを積極的に活用して下さい。

「サムエルはミツパに集まって全国の民の悔い改め運動もして、最も強固な弟子ダビデもたてました」
-こういうナレーション一言ならば、ミツパで起きた戦争の話や、ダビデをたてに行った話も、多くの部分が一言で要約されます。

★ tip

1.結末が重要です。

A は必ずほろびる側に、B は必ず士師になって、ミツパ運動する場面で終えて下さい。派遣メッセージとつながります。

2.簡単な小物は先生があらかじめ会議して準備して下さい。(マジックと A4 用紙があれば、誰の役割なのか知ることが出来る最小限の小物になるのでしょうか！)

3.演劇の重要ポイントは、みことばに根を下ろす時間があるかないかによって、人生がどのように流れるかです。みことばに根を下ろす時間を具体的に表現することができるように指導して下さい。

(例えば、契約の箱のそばで聖書を読みながら、問題、事件の中で答えを得るサムエル。寝る前にもみことばを読んで祈って寝て、神様の御声を聞くサムエル、ひとりでみことば黙想はしなくて不平不満だげずっと繰り返して言っているサムエル)

2.メッセージ(*貼付した PPT 内容です。板書ですればより一層効果的です)

1.神様の刻印

(1)神様のかたち(創世記 1:27)

(2)神様とともに、征服、治めること(創世記 1:28)

(3)まことの幸せ

→ 神様が本来くださった刻印は、神様とともにいるとき、幸せな霊的存在として作られたので、インマヌエルが最も大きい幸せ

2.サタンの刻印

(1)私のために

(2)肉のために

(3)成功のために

→ サタンはいろいろなことを通して神様の刻印の反対に話します。目に見えない神様が何が重要なのか。あなた自身が重要だろう!良い服を着て、おいしいもの食べて、ほめられて認められて、成功して!それが本当に幸せだよ!サタンは学校教育を通して、本を通して、映画を通して、アニメを通して、人の声を通して、文化を通して…いろいろなことを動員して神様の刻印の反対の違った刻印を植えます。

3.みことばに根を下ろす時間

(1)サムエルはみことばに根を下ろす時間がありました。

(2)サタンの違った刻印が防がれる時間です。

(3)家庭、家系、国、世界を生かすレムナントとして用いられました。サタンの声、世の中の声に耳を閉じて、神様の刻印が根を下ろすようになる時間が必要です。サムエルはその時間がありました。それゆえ、どんな問題や事件にも揺れない、まことの幸せを味わいました。そして、教会、国、世界を生かすレムナントとして用いられました。反対に、この時間がなかったサムエルはどうなったでしょうか。私たちのレムナントが芝居したとおり、ともにほろびる人生になったでしょう。生かす者と呼ばれ、みことばも受けたのに、失敗の場にいるようになります。

結論)私もサムエルのように、みことばの根を下ろす時間を持ちます。

①礼拝 ②みことば黙想 ③祈り ④賛美 ⑤伝道

→ それなら、私はどのように神様のみことばに根を下ろす時間を持ちますか

△派遣式

1.個人適用黙想

1, 2講を土台に、子どもたちに考える時間を与えます。はたして、私はみことばに根を下ろす時間を毎日持てば、未来にどんな人生になるのだろうか。反対に、みことばに根を下ろす時間を一度も持たないならば、未来にどんな人生になるのだろうか。絵で表現したり、文章で表現して、私の未来を考えてみさせます。この時間に「レムナント宣誓文」を作成します。

-宣誓文内容例-

私 (1) (キム・パウロ)は

(2) (聖書を毎朝一日に1章ずつ読んで)

神様がくださったことで刻印する時間を持ちます。

それで(3) (家庭)、(4) (日本)を生かすレムナント宣教師として用いられます。

2016.7.16 レムナント:キム・パウロ

括弧をレムナントが埋めるようにさせることで、神様の前で決断する時間を持ちます。

1番 ():名前

2番 ():具体的に実行する時間と内容

3番 ():今、私が住んでいる所

家庭、ひょっとして家庭問題があつて、私は家庭を生かさなければならないというレムナントは、家庭学校、家の人はみな福音を知っているけれど、学校の友だちが神様が知らずにとてもかわいそうに思うレムナントは学校

教会、私たちの教会は難しい状況なので生かしたいと思うレムナントは教会

家系、私たちの家系は福音を受けた人もあまりいないので生かしたいと思うレムナントは家系

4番 ():未来に私が生かす国

2.決断文宣言式(*添付された PPT と上に書いたレムナント宣誓文を参考活用して下さい)

ppt で宣誓文をいっしょに宣言します。一人ずつ出てきて私の宣誓文を朗読します。前に出て人々に言葉で誓うのと、ただ一人で決心して書いているのとは、とても大きい差があります。ある日見れば、自分の口で宣言した通り成就しています。前で宣言しなければならぬから、少しの間だけでも重要で真摯に

考えてみるでしょう。確実な刻印になります。もしかして、人員が多い教会は、学年別やチーム別に分けて進行すれば良いでしょう。

3.派遣状授与(*添付された活用紙を参考にして下さい)

派遣状をレムナント1人1人に授与します。真剣な雰囲気担任牧師先生が授与すれば、子どもたちに大きい意味になります。担任牧師や長老、教会重職の方が一人一人に、派遣する祝福祈禱をすれば、子どもたちの中に‘派遣’という重要な単語が刻まれます。派遣状だけを与えるより、ケースに入れて授与すれば子どもたちには、より大きい意味が付与されます。財政がある方々は、“賞状ケース”をネットで検索すれば、賞状のケースがあるでしょう。申請して活用してみてください。2面を見ることができるケースを買ったら、右側に派遣状を入れて、授与した子どもたちが宣言した宣誓文を左側に入れて保管できるようにしてあげれば良いと思います。